

市民活動団体と地域との連携に関するアンケート集計結果

注) 〇〇は、事務局において大まかに分類した項目です。

(1) 集計

ア UMECO登録団体

対象団体数	回答団体数	回答率
394 団体	211 団体	53.55%

1 団体について

Q1 団体の主な活動分野はどれですか。(主なもの1つ、それ以外2つまで)

	主分野		副分野	
	回答	割合	回答	割合
保健・医療・福祉の増進	25	11.85%	10	8.13%
社会教育の推進	23	10.90%	16	13.01%
まちづくりの推進	9	4.27%	18	14.63%
観光の振興	3	1.42%	15	12.20%
農山漁村又は中山間地域の振興	3	1.42%	1	0.81%
学術・文化・芸術・スポーツの振興	79	37.44%	17	13.82%
環境の保全	10	4.74%	3	2.44%
災害救援	4	1.90%	1	0.81%
地域安全	3	1.42%	5	4.07%
人権の擁護又は平和の推進	1	0.47%	6	4.88%
国際協力	12	5.69%	0	0.00%
男女共同参画	6	2.84%	3	2.44%
子どもの健全育成	26	12.32%	17	13.82%
情報化社会の発展	3	1.42%	2	1.63%
科学技術の振興	0	0.00%	2	1.63%
経済活動の活発化	1	0.47%	3	2.44%
職業能力の開発・雇用拡充	1	0.47%	2	1.63%
消費者の保護	2	0.95%	0	0.00%
NPOの運営等の援助	0	0.00%	2	1.63%
その他	0	0.00%	0	0.00%

Q2 どの地区で活動していますか。(複数選択可)

	回答	割合		回答	割合
市内全域	142	47.49%	富水	3	1.00%
緑	5	1.67%	桜井	3	1.00%
新玉	4	1.34%	酒匂・小八幡	6	2.01%
万年	4	1.34%	下府中	4	1.34%
幸	5	1.67%	富士見	2	0.67%
十字	2	0.67%	豊川	2	0.67%
片浦	3	1.00%	上府中	3	1.00%
早川	0	0.00%	曾我	3	1.00%
大窪	1	0.33%	下曾我	6	2.01%
山王網一色	1	0.33%	国府津	7	2.34%
足柄	4	1.34%	前羽	3	1.00%
芦子	4	1.34%	橘北	4	1.34%
二川	1	0.33%	市外	49	16.39%
久野	5	1.67%	不明		
東富水	2	0.67%	(施設名等)		
			UMECO	21	7.02%
			その他	26	8.70%

2 市民活動団体と地域との連携について

Q3 これまでに、小田原市内の地域と活動したことがありますか。（1つ選択）

	回答	割合
10回以上ある	38	18.36%
5～9回ある	16	7.73%
2～4回ある	27	13.04%
1回のみ	12	5.80%
ない	113	54.59%
その他	1	0.48%

⇒ 別紙アに記載内容一覧

Q4 地域と活動することになった経緯と活動の内容を教えてください。（自由記載）

○経緯

	回答	割合
自治会の依頼等	23	17.42%
地域コミュニティ組織の依頼等	7	5.30%
地域住民の依頼等	6	4.55%
学校の依頼等	11	8.33%
社会福祉協議会の依頼等	8	6.06%
公民館の依頼等	8	6.06%
民生・児童委員の依頼等	4	3.03%
子ども会・老人会の依頼等	4	3.03%
福祉施設の依頼等	6	4.55%
企業の依頼等	4	3.03%
市の依頼等	12	9.09%
県の依頼等	2	1.52%
他の市民活動団体の依頼等	5	3.79%
UMECOの依頼等	2	1.52%
その他団体・委員等の依頼等	6	4.55%
相手は不明	9	6.82%
自団体の活動PR等を依頼	15	11.36%

○内容

⇒ 別紙アに記載内容一覧

	回答	割合
継続的な運営等に係る協力	3	2.86%
生涯学習・レクリエーション等に係る協力	42	40.00%
防災・交通安全に係る協力	10	9.52%
医療・福祉に係る協力	6	5.71%
環境に係る協力	6	5.71%
国際交流に係る協力	1	0.95%
子育てに係る協力	2	1.90%
学校教育に係る協力	10	9.52%
地域・経済振興に係る協力	2	1.90%
その他の協力（募金・詳細不明等）	8	7.62%
団体の活動への協力	15	14.29%

Q5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。（1つ選択）

	回答	割合
活動したい	84	42.00%
活動したくない	18	9.00%
どちらとも言えない	98	49.00%

別紙アに理由の記載内容一覧

○活動したくない理由

	回答	割合
活動の趣旨や内容等に合致しないため	8	44.44%
高齢化のため	3	16.67%
人員不足のため	2	11.11%
現状で満足しているため	2	11.11%
スキル不足のため	1	5.56%
多忙のため	1	5.56%
活動の見直し・充実を図るため	1	5.56%

○どちらとも言えない理由

	回答	割合
活動の趣旨や内容等に合致しないため	13	12.75%
連携する意義やニーズが感じられないため	12	11.76%
高齢化のため	10	9.80%
人員不足のため	10	9.80%
多忙のため	10	9.80%
団体内で意見が一致等していないため	6	5.88%
地域との調整が難しいため	3	2.94%
スキルや体制が不十分のため	2	1.96%
活動の見直し・充実を図るため	2	1.96%
活動を休止・終了予定のため	2	1.96%
現状で満足しているため	1	0.98%
他団体等を通じ活動している	3	2.94%
現行の連携を継続する予定	2	1.96%
依頼・きっかけがあれば検討の余地あり	24	23.53%
その他	2	1.96%

→Q6 地域と活動するにあたり、どのような内容を希望しますか。(自由記載)

注)設問上は、連携先と内容を分けていません。

⇒別紙アに記載内容一覧

○連携先

○内容

	回答	割合		回答	割合
自治会	10	9.90%	継続的な運営等に係る協力	3	3.06%
地域コミュニティ組織	1	0.99%	生涯学習・レクリエーション等に係る協力	31	31.63%
地域住民	10	9.90%	防災・交通安全に係る協力	10	10.20%
学校	2	1.98%	医療・福祉に係る協力	14	14.29%
社会福祉協議会	1	0.99%	環境に係る協力	7	7.14%
公民館	4	3.96%	子育てに係る協力	3	3.06%
子ども会・老人会	3	2.97%	学校教育に係る協力	1	1.02%
福祉施設	1	0.99%	地域・経済振興に係る協力	3	3.06%
企業	1	0.99%	その他の協力(募金・詳細不明等)	10	10.20%
市	2	1.98%	団体の活動への協力	16	16.33%
特定の希望なし	50	49.50%			
自団体の活動PR等を依頼	16	15.84%			

→Q7 地域と活動するにあたり、コーディネーターは必要ですか。(1つ選択)

	回答	割合
必要	59	64.13%
不要	32	34.78%
どちらでもよい	1	1.09%

別紙アに理由の記載内容一覧

○必要な理由

○不要な理由

	回答	割合		回答	割合
団体のPRのため	6	9.38%	団体内で調整可能なため	10	38.46%
地域の情報が不足しているため	6	9.38%	すでにつながりがあるため	6	23.08%
会場準備のため	5	7.81%	小規模な連携のため	1	3.85%
対応可能な範囲が広がるため	4	6.25%	可能な範囲で連携したいため	1	3.85%
つながりが無いため	4	6.25%	コーディネーターの役割が不明のため	1	3.85%
日程調整のため	4	6.25%	団体の紹介だけはお願いたい	1	3.85%
内容調整のため	2	3.13%	要否は状況による	6	23.08%
円滑なコミュニケーションのため	2	3.13%			
地域からの信頼を得るため	2	3.13%			
地元ではないため	2	3.13%			
団体内での合意が得やすい	1	1.56%			
団体の活動の充実のため	1	1.56%			
調整全般のため	21	32.81%			
要否は状況による	4	6.25%			

→Q8 地域と活動するにあたり、どのようなアプローチを希望しますか。(1つ選択)

	回答	割合
自ら地域に出向く	29	31.18%
地域行事などの機会に出向く	27	29.03%
地域の人に活動を見学に来てもらう	25	26.88%
その他	12	12.90%

⇒別紙アに記載内容一覧

→ Q9 地域と活動するにあたり、期待することは何ですか。（複数選択可）

	回答	割合
団体のPR	47	23.27%
活動理念への共感	50	24.75%
会員数の増加	32	15.84%
活動の場の拡大	46	22.77%
資金の確保	17	8.42%
その他	10	4.95%

⇒ 別紙アに記載内容一覧

→ Q10 地域と活動するにあたり、地域に負担してほしい費用はありますか。（複数選択可）

	回答	割合
ない（無償）	35	23.03%
燃料費	3	1.97%
教材費	13	8.55%
材料費	15	9.87%
交通費	25	16.45%
会場費	35	23.03%
人件費	11	7.24%
その他	15	9.87%

⇒ 別紙アに記載内容一覧

Q11 連携を希望する相手はありますか。（複数選択可）

	回答	割合
自治会	60	15.00%
地域コミュニティ組織	68	17.00%
学校	79	19.75%
企業	46	11.50%
同じ分野の団体	76	19.00%
違う分野の団体	30	7.50%
その他	41	10.25%

分野の特定なし 8
 分野の特定あり 22
 連携希望なし 17
 上記以外 24

⇒ 別紙アに記載内容一覧

Q12 地域との活動を促進するためには、何が必要だと思いますか。（複数選択可）

	回答	割合
地域と交流する機会	80	20.41%
地域への紹介	70	17.86%
調整の窓口となるコーディネーター	67	17.09%
地域に関する情報提供	47	11.99%
人員確保	45	11.48%
資金支援	27	6.89%
市民活動団体同士の連携	40	10.20%
その他	16	4.08%

※1

※2

⇒ 別紙アに記載内容一覧

Q13 団体が地域と活動することを難しくしている原因は何だと思いますか。(複数選択可)

	回答	割合	
費用面で調整が難しい	23	6.76%	
日程等の調整が難しい	48	14.12%	
人間関係や慣例に対応できない	23	6.76%	
市民活動のことを地域が正しく知らない	51	15.00%	
団体のことを地域が正しく知らない	57	16.76%	※3
地域のニーズが分からない	57	16.76%	※4
地域にはニーズがない	15	4.41%	
団体が人手不足	43	12.65%	
その他	23	6.76%	⇒ 別紙アに記載内容一覧

2 おだわら市民交流センターUMECOについて

Q14 UMECOの施設を利用、または事業に参加いただいたことはありますか。(複数選択可)

	回答	割合	
有料の会議室を利用	125	29.83%	
団体優先で無料の活動エリアを利用	121	28.88%	
誰でも使える交流エリアを利用	91	21.72%	
事業に参加	65	15.51%	
利用・参加したことはない	8	1.91%	
以前は利用・参加していた	5	1.19%	
その他	4	0.95%	⇒ 別紙アに記載内容一覧

Q15 ネットワーク形成事業や市民活動登録団体名簿を知っていましたか。(1つ選択)

	回答	割合
事業は知っていた	48	23.30%
名簿は知っていた	53	25.73%
どちらも知っていた	69	33.50%
どちらも知らなかった	36	17.48%

Q16 UMECOにどのようなことを望みますか。(複数選択可)

	回答	割合	
場所の貸出	129	33.51%	
相談窓口	25	6.49%	
交流機会の提供	56	14.55%	
研修機会の提供	31	8.05%	
情報提供	92	23.90%	
なし	20	5.19%	
その他	32	8.31%	⇒ 別紙アに記載内容一覧

クロス集計

Q3 これまでに、小田原市内の地域と活動したことがありますか。(1つ選択)

Q5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。(1つ選択)

Q5\Q3	2回以上ある		1回のみ		ない	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
活動したい	47	23.98%	7	3.57%	60	30.61%
活動したくない	1	0.51%	0	0.00%	15	7.65%
どちらとも言えない	32	16.33%	4	2.04%	30	15.31%

全体の回答数
196

Q3 これまでに、小田原市内の地域と活動したことがありますか。(1つ選択)

Q12 地域との活動を促進するためには、何が必要だと思えますか。(複数選択可)

Q12\Q3	2回以上ある		1回のみ		ない	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
地域と交流する機会	43	11.50%	4	1.07%	33	8.82%
地域への紹介	30	8.02%	4	1.07%	35	9.36%
調整の窓口となるコーディネーター	30	8.02%	5	1.34%	31	8.29%
地域に関する情報提供	26	6.95%	4	1.07%	17	4.55%
人員確保	21	5.61%	4	1.07%	20	5.35%
資金支援	10	2.67%	1	0.27%	16	4.28%
市民活動団体同士の連携	17	4.55%	2	0.53%	20	5.35%
その他	0	0.00%	1	0.27%	0	0.00%

全体の回答数
374

Q3 これまでに、小田原市内の地域と活動したことがありますか。(1つ選択)

Q13 団体が地域と活動することを難しくしている原因は何だと思えますか。(複数選択可)

Q13\Q3	2回以上ある		1回のみ		ない	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
費用面で調整が難しい	12	3.55%	2	0.59%	9	2.66%
日程等の調整が難しい	24	7.10%	2	0.59%	22	6.51%
人間関係や慣例に対応できない	7	2.07%	2	0.59%	14	4.14%
市民活動のことを地域が正しく知らない	25	7.40%	2	0.59%	24	7.10%
団体のことを地域が正しく知らない	28	8.28%	4	1.18%	24	7.10%
地域のニーズが分からない	23	6.80%	3	0.89%	30	8.88%
地域にはニーズがない	6	1.78%	1	0.30%	8	2.37%
団体が人手不足	18	5.33%	1	0.30%	24	7.10%
その他	11	3.25%	0	0.00%	12	3.55%

全体の回答数
338

Q5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。(1つ選択)

Q12 地域との活動を促進するためには、何が必要だと思えますか。(複数選択可)

Q12\Q5	活動したい		活動したくない		どちらとも言えない	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
地域と交流する機会	50	13.09%	1	0.26%	28	7.33%
地域への紹介	39	10.21%	2	0.52%	28	7.33%
調整の窓口となるコーディネーター	36	9.42%	1	0.26%	28	7.33%
地域に関する情報提供	26	6.81%	3	0.79%	17	4.45%
人員確保	19	4.97%	3	0.79%	18	4.71%
資金支援	14	3.66%	0	0.00%	13	3.40%
市民活動団体同士の連携	23	6.02%	1	0.26%	16	4.19%
その他	4	1.05%	4	1.05%	8	2.09%

全体の回答数
382

Q5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。(1つ選択)

ア UMECO登録団体

Q13 団体が地域と活動することを難しくしている原因は何だと思えますか。(複数選択可)

Q13\Q5	活動したい		活動したくない		どちらとも言えない	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
費用面で調整が難しい	7	2.11%	1	0.30%	14	4.22%
日程等の調整が難しい	24	7.23%	1	0.30%	23	6.93%
人間関係や慣例に対応できない	10	3.01%	0	0.00%	11	3.31%
市民活動のことを地域が正しく知らない	29	8.73%	2	0.60%	21	6.33%
団体のことを地域が正しく知らない	37	11.14%	2	0.60%	19	5.72%
地域のニーズが分からない	28	8.43%	0	0.00%	27	8.13%
地域にはニーズがない	5	1.51%	0	0.00%	10	3.01%
団体が人手不足	18	5.42%	3	0.90%	18	5.42%
その他	11	3.31%	2	0.60%	9	2.71%

全体の回答数
332

Q5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。(1つ選択)

Q16 UMECOにどのようなことを望みますか。(複数選択可)

Q16\Q5	活動したい		活動したくない		どちらとも言えない	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
場所の貸出	52	14.09%	10	2.71%	60	16.26%
相談窓口	14	3.79%	2	0.54%	8	2.17%
交流機会の提供	30	8.13%	1	0.27%	26	7.05%
研修機会の提供	15	4.07%	3	0.81%	12	3.25%
情報提供	42	11.38%	4	1.08%	42	11.38%
なし	4	1.08%	2	0.54%	14	3.79%
その他	12	3.25%	4	1.08%	12	3.25%

全体の回答数
369

Q11 連携を希望する相手はありますか。(複数選択可)

Q12 地域との活動を促進するためには、何が必要だと思えますか。(複数選択可)

Q12\Q11	自治会		地域コミュニティ組織		学校	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
地域と交流する機会	44	7.47%	47	7.98%	45	7.64%
地域への紹介	35	5.94%	35	5.94%	39	6.62%
調整の窓口となるコーディネーター	25	4.24%	36	6.11%	38	6.45%
地域に関する情報提供	24	4.07%	27	4.58%	28	4.75%
人員確保	12	2.04%	16	2.72%	21	3.57%
資金支援	11	1.87%	14	2.38%	17	2.89%
市民活動団体同士の連携	15	2.55%	27	4.58%	23	3.90%
その他	2	0.34%	3	0.51%	5	0.85%

全体の回答数
589

Q11 連携を希望する相手はありますか。(複数選択可)

Q13 団体が地域と活動することを難しくしている原因は何だと思えますか。(複数選択可)

Q13\Q11	自治会		地域コミュニティ組織		学校	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
費用面で調整が難しい	9	1.94%	10	2.16%	10	2.16%
日程等の調整が難しい	18	3.89%	19	4.10%	21	4.54%
人間関係や慣例に対応できない	6	1.30%	11	2.38%	10	2.16%
市民活動のことを地域が正しく知らない	25	5.40%	26	5.62%	28	6.05%
団体のことを地域が正しく知らない	29	6.26%	31	6.70%	37	7.99%
地域のニーズが分からない	19	4.10%	26	5.62%	30	6.48%
地域にはニーズがない	7	1.51%	8	1.73%	10	2.16%
団体が人手不足	9	1.94%	15	3.24%	21	4.54%
その他	8	1.73%	8	1.73%	12	2.59%

全体の回答数
463

イ 市内NPO法人（UMECOに団体登録していない法人）

対象団体数	回答団体数	回答率
63 団体	27 団体	42.86%

1 団体について

Q1 団体の主な活動分野はどれですか。（主なもの1つ、それ以外2つまで）

	主分野		副分野	
	回答	割合	回答	割合
保健・医療・福祉の増進	10	37.04%	0	0.00%
社会教育の推進	1	3.70%	0	0.00%
まちづくりの推進	4	14.81%	1	10.00%
観光の振興	0	0.00%	1	10.00%
農山漁村又は中山間地域の振興	0	0.00%	0	0.00%
学術・文化・芸術・スポーツの振興	1	3.70%	4	40.00%
環境の保全	2	7.41%	1	10.00%
災害救援	0	0.00%	1	10.00%
地域安全	1	3.70%	0	0.00%
人権の擁護又は平和の推進	0	0.00%	0	0.00%
国際協力	0	0.00%	0	0.00%
男女共同参画	0	0.00%	0	0.00%
子どもの健全育成	6	22.22%	2	20.00%
情報化社会の発展	0	0.00%	0	0.00%
科学技術の振興	0	0.00%	0	0.00%
経済活動の活発化	0	0.00%	0	0.00%
職業能力の開発・雇用拡充	0	0.00%	0	0.00%
消費者の保護	1	3.70%	0	0.00%
NPOの運営等の援助	1	3.70%	0	0.00%
その他	0	0.00%	0	0.00%

Q2 どの地区で活動していますか。（複数選択可）

	回答	割合		回答	割合
市内全域	14	20.90%	富水	2	2.99%
緑	2	2.99%	桜井	3	4.48%
新玉	2	2.99%	酒匂・小八幡	3	4.48%
万年	2	2.99%	下府中	2	2.99%
幸	2	2.99%	富士見	2	2.99%
十字	2	2.99%	豊川	1	1.49%
片浦	0	0.00%	上府中	1	1.49%
早川	2	2.99%	曾我	1	1.49%
大窪	4	5.97%	下曾我	1	1.49%
山王網一色	3	4.48%	国府津	1	1.49%
足柄	2	2.99%	前羽	1	1.49%
芦子	2	2.99%	橋北	0	0.00%
二川	2	2.99%	市外	5	7.46%
久野	2	2.99%	活動休止中	1	1.49%
東富水	2	2.99%			

2 市民活動団体と地域との連携について

Q3 これまでに、小田原市内の地域と活動したことがありますか。(1つ選択)

	回答	割合
10回以上ある	8	29.63%
5～9回ある	1	3.70%
2～4回ある	7	25.93%
1回のみ	0	0.00%
ない	11	40.74%

Q4 地域と活動することになった経緯と活動の内容を教えてください。(自由記載)

○経緯

○内容

⇒ 別紙イに記載内容一覧

○経緯			○内容		
	回答	割合		回答	割合
自治会の依頼等	3	13.04%	継続的な運営等に係る協力	2	8.00%
地域コミュニティ組織の依頼等	3	13.04%	生涯学習・レクリエーション等に係る協力	4	16.00%
地域住民の依頼等	2	8.70%	防災・交通安全に係る協力	2	8.00%
学校の依頼等	2	8.70%	医療・福祉に係る協力	1	4.00%
子ども会・老人会の依頼等	1	4.35%	環境に係る協力	5	20.00%
市の依頼等	1	4.35%	学校教育に係る協力	2	8.00%
その他団体・委員等の依頼等	3	13.04%	その他の協力(募金・詳細不明等)	1	4.00%
施設運営に係る協力等を依頼	8	34.78%	施設運営に係る協力等を依頼	8	32.00%

Q5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。(1つ選択)

	回答	割合
活動したい	15	55.56%
活動したくない	3	11.11%
どちらとも言えない	9	33.33%

別紙イに理由の記載内容一覧

Q6 地域と活動するにあたり、どのような内容を希望しますか。(自由記載)

※設問上は、連携先と内容を分けていません。

⇒ 別紙イに記載内容一覧

○連携先

○内容

○連携先			○内容		
	回答	割合		回答	割合
地域コミュニティ組織	1	6.67%	生涯学習・レクリエーション等に係る協力	4	23.53%
地域住民	4	26.67%	防災・交通安全に係る協力	3	17.65%
民生・児童委員	2	13.33%	医療・福祉に係る協力	1	5.88%
特定の希望なし	5	33.33%	環境に係る協力	1	5.88%
施設運営に係る協力等を依頼	3	20.00%	その他の協力(詳細不明等)	5	29.41%
			施設運営に係る協力等を依頼	3	17.65%

Q7 地域と活動するにあたり、コーディネーターは必要ですか。(1つ選択)

	回答	割合
必要	5	31.25%
不要	10	62.50%
どちらでもよい	1	6.25%

別紙イに理由の記載内容一覧

Q8 地域と活動するにあたり、どのようなアプローチを希望しますか。（1つ選択）

	回答	割合
自ら地域に出向く	2	11.76%
地域行事などの機会に出向く	7	41.18%
地域の人に活動を見学に来てもらう	3	17.65%
その他	5	29.41%

⇒ 別紙イに記載内容一覧

Q9 地域と活動するにあたり、期待することは何ですか。（複数選択可）

	回答	割合
団体のPR	10	27.78%
活動理念への共感	11	30.56%
会員数の増加	2	5.56%
活動の場の拡大	7	19.44%
資金の確保	3	8.33%
その他	3	8.33%

⇒ 別紙イに記載内容一覧

Q10 地域と活動するにあたり、地域に負担してほしい費用はありますか。（複数選択可）

	回答	割合
ない（無償）	11	30.56%
燃料費	4	11.11%
教材費	3	8.33%
材料費	3	8.33%
交通費	2	5.56%
会場費	4	11.11%
人件費	5	13.89%
その他	4	11.11%

⇒ 別紙イに理由の記載内容一覧

Q11 連携を希望する相手はありますか。（複数選択可）

	回答	割合
自治会	12	22.22%
地域コミュニティ組織	10	18.52%
学校	11	20.37%
企業	5	9.26%
同じ分野の団体	10	18.52%
違う分野の団体	4	7.41%
その他	2	3.70%

分野の特定なし 0
 分野の特定あり 4
 連携希望なし 1
 上記以外 1

⇒ 別紙イに記載内容一覧

Q12 地域との活動を促進するためには、何が重要だと思いますか。（複数選択可）

	回答	割合
地域と交流する機会	11	18.64%
地域への紹介	8	13.56%
調整の窓口となるコーディネーター	8	13.56%
地域に関する情報提供	9	15.25%
人員確保	8	13.56%
資金支援	12	20.34%
市民活動団体同士の連携	2	3.39%
その他	1	1.69%

※5 ⇒ 別紙イに記載内容一覧

Q13 団体が地域と活動することを難しくしている原因は何だと思いますか。（複数選択可）

	回答	割合
費用面で調整が難しい	9	14.52%
日程等の調整が難しい	11	17.74%
人間関係や慣例に対応できない	4	6.45%
市民活動のことを地域が正しく知らない	8	12.90%
団体のことを地域が正しく知らない	6	9.68%
地域のニーズが分からない	8	12.90%
地域にはニーズがない	3	4.84%
団体が人手不足	7	11.29%
その他	6	9.68%

⇒ 別紙イに記載内容一覧

2 おだわら市民交流センターUMECOについて

Q14 UMECOの役割や様々な支援事業について知っていましたか。（1つ選択）

	回答	割合
知っていた	19	70.37%
知らなかった	8	29.63%

Q15 どのようなメリットがあれば、UMECOに団体登録しようと思いますか。（複数選択可）

	回答	割合
相談への対応	5	11.63%
交流会への参加	6	13.95%
研修会への参加	5	11.63%
イベントへの参加	7	16.28%
情報提供	5	11.63%
場所の貸出	6	13.95%
登録しようとは思わない	9	20.93%

※6

Q16 UMECOに登録しようと思わない理由は何ですか。（複数選択可）

	回答	割合
県の相談窓口で十分	0	0.00%
他主体との交流がすでにできている	4	30.77%
ほかに研修の機会がある	1	7.69%
すでに活動場所を確保している	2	15.38%
事業に魅力を感じない	0	0.00%
その他	6	46.15%

⇒ 別紙イに記載内容一覧

ウ 地域コミュニティ組織

全体の回答状況		
対象者数	回答者数	回答率
80人	63人	78.75%
※26地区に3通ずつとその他有志		

1 市民活動団体（非営利で活動している任意団体やNPO法人等）について

Q1 市民活動団体や地域外のボランティアの協力を受けていますか。（1つ選択）

	回答	割合
ある	19	30.16%
ない	31	49.21%
わからない	12	19.05%
過去にはあった	1	1.59%

⇒ 別紙ウに団体名の記載内容一覧

⇒ 別紙ウに団体名及び協力がなくなった理由の記載内容一覧

Q2 どのような事業における協力ですか。（複数選択可）

	回答	割合
サロン	6	12.00%
子育て広場	1	2.00%
子ども食堂	0	0.00%
敬老会	8	16.00%
健民祭	7	14.00%
防犯パトロール	6	12.00%
交通安全事業	3	6.00%
ウォーキング事業	3	6.00%
清掃活動	7	14.00%
防災訓練	6	12.00%
その他	3	6.00%

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

Q3 今後、どのような事業において、協力を受けたいと思いますか。（複数選択可）

	回答	割合
サロン	13	11.71%
子育て広場	2	1.80%
子ども食堂	4	3.60%
敬老会	12	10.81%
健民祭	6	5.41%
防犯パトロール	10	9.01%
交通安全事業	10	9.01%
ウォーキング事業	2	1.80%
清掃活動	18	16.22%
防災訓練	15	13.51%
その他	5	4.50%
協力を受けたいと思わない	14	12.61%

検討中 2

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

⇒ 別紙ウに理由の記載内容一覧

Q4 希望する具体的な協力内容は何か。（自由記載）

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

Q5 どのような団体から協力を受けたと思いますか。(複数選択可)

	回答	割合
専門性を有する団体	24	35.82%
企画提案力に優れる団体	12	17.91%
会員数の多い団体	1	1.49%
学生を中心とした団体	10	14.93%
年齢層の高い団体	2	2.99%
屋外作業が得意な団体	12	17.91%
その他	6	8.96%

検討中 2

上記以外 4

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

Q6 地域で負担可能な費用はありますか。(複数選択可)

	回答	割合
ない(無償)	16	25.40%
燃料費	7	11.11%
教材費	5	7.94%
材料費	4	6.35%
交通費	19	30.16%
会場費	3	4.76%
人件費	5	7.94%
その他	4	6.35%

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

Q7 地域と市民活動団体の連携が進まない原因は、何だと思いませんか。(複数選択可)

	回答	割合
費用面で調整が難しい	10	8.93%
日程等の調整が難しい	17	15.18%
地域外の協力者に抵抗感がある	6	5.36%
どのような団体があるのかわからない	32	28.57%
団体が地域のことを理解していない	9	8.04%
地域の人だけで対応できる	15	13.39%
ニーズに合った団体がいない	5	4.46%
地域の負担が増える	10	8.93%
その他	8	7.14%

※7

⇒ 別紙ウに増える負担の記載内容一覧

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

2 おだわら市民交流センターUMECOについて

Q8 UMECOが様々な支援事業を実施していることを知っていますか。(1つ選択)

	回答	割合
知っていた	44	72.13%
知らなかった	17	27.87%

Q9 ネットワーク形成事業や市民活動登録団体名簿を知っていましたか。(1つ選択)

	回答	割合
事業は知っていた	21	34.43%
名簿は知っていた	12	19.67%
どちらも知っていた	10	16.39%
どちらも知らなかった	18	29.51%

Q10 地域と市民活動の連携促進のために、どうしたらよいと思いますか。(複数選択可)

	回答	割合
市民活動登録団体名簿の改善	14	20.59%
相談体制の強化	42	61.76%
その他	12	17.65%

※8

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

Q11 登録団体名簿をどのように改善すれば、連携が促進されると思いますか。(複数選択可)

①配布先の見直し

	回答	割合
まちづくり委員会の実務担当者	15	37.50%
自治会長	13	32.50%
民生委員	5	12.50%
学校	1	2.50%
公民館	4	10.00%
その他	2	5.00%

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

②内容の見直し

	回答	割合
名簿の役割	4	8.51%
手続きの流れ	12	25.53%
費用	7	14.89%
対象地区	3	6.38%
現場に即した分類	5	10.64%
団体の規模や実績	4	8.51%
名簿の活用例	1	2.13%
協力できる内容が具体的に書かれた団体概要	11	23.40%
その他	0	0.00%

Q12 どのような相談体制となれば、連携が促進されると思いますか。(複数選択可)

	回答	割合
自発的に地域に出向きニーズを聞き取る	11	13.41%
依頼に応じて地域に出向きニーズを聞き取る	7	8.54%
UMECOで定期的に相談会を開催する	7	8.54%
電話で気軽に相談できる	20	24.39%
窓口で気軽に相談できる	19	23.17%
メールで気軽に相談できる	12	14.63%
ノウハウを有するスタッフを配置	5	6.10%
その他	1	1.22%

⇒ 別紙ウに頻度・場所の記載内容一覧

⇒ 別紙ウに記載内容一覧

(2) 分析

ア UMECO登録団体

※1 (Q12の回答：地域と交流する機会)

…年1回、UMECO主催の新春交流会で自治会連合会長と市民活動団体が交流する機会が設けられているが、市民活動団体は、さらなる交流機会を求めていると考えられる。

※2 (Q12の回答：地域への紹介)

…UMECOが作成した市民活動登録団体名簿やUMECOだよりを単位自治会長に配布しているが、市民活動団体は、さらなる地域への紹介を求めていると考えられる。

※3 (Q13の回答：団体のことを地域が正しく知らない)

…地域が市民活動団体について十分な情報を得られるように支援することで、連携促進につながる可能性がある。

※4 (Q13の回答：団体のニーズが分からない)

…地域のニーズを市民活動団体に提示することで、連携促進につながる可能性がある。

イ 市内NPO法人 (UMECOに団体登録していない法人)

※5 (Q12の回答：資金支援)

…UMECO登録団体とは異なり、資金支援という回答が最も多かった。

※6 (Q15の回答全般)

…UMECOの各種事業についてメリットがあれば登録したいと考えるNPO法人が多かった。

ウ 地域コミュニティ組織

※7 (Q7の回答：どのような団体があるのかわからない)

…UMECOが作成した市民活動登録団体名簿やUMECOだよりを単位自治会長に配布しているが、地域は、その情報を十分に把握できていないと考えられる。

※8 (Q10の回答：相談体制の強化)

…UMECOは相談業務を行っているが、地域は、さらなる相談体制の強化を求めていると考えられる。

エ その他

- ・今回のアンケートにより、UMECO登録団体に関して、これまでUMECOが把握していなかった情報を得ることができた。今後も、定期的にUMECO登録団体の活動状況やニーズ等を把握することが望ましいと思われる。
- ・現在は、UMECOが団体登録更新手続き（団体の来館による書類提出）の際に活動状況等を把握することとしているが、実際には活動状況等を十分に把握することが難しい。

自由記載等回答一覧（UMECO登録団体）（修正版）

Q3 これまでに、小田原市内の地域と活動したことがありますか。		
「その他」		
1	当会が母体としてはかかわっていないが、当会の個々の先生が自分の裁量でかかわっている。	
Q4 地域と活動することになった経緯と活動の内容を教えてください。		
経緯	内容	
1	マンションの生涯学習班より自分時間手帖を見て連絡があり	「楽しく老いるために」の講演
2	久野自治会より要請	文化部で講演会
3	J A片浦農協デイサービス担当役員より。潤生園れんげの里（年2回）他の施設は色々と慰問している。	日舞を披露。潤生園以外の施設では日舞と語りを「セット」で披露している。
4	自治会長からの要請。老人福祉施設からの要請がほとんど、数知れないほど慰問している。	敬老会での民話語り、民話朗読や民話素語り
5	回数は不明	会員が個々に自治会の文化展などに出品したりして関りを持っている
6	旭丘高校より要請があった、地球市民フェスタへの参加	海外の高校生との交歓会での通訳、ブース開設
7	地元自治会（特に公民館）よりの要請	敬老会、地区公民館フェスティバル、市老人クラブ連合会、公民館文化祭等
8	子供会役員の方から依頼があった	子供会での折り紙教室
9	社会福祉協議会及び市高齢介護課との連携による要請があった	元気に暮らすためのシニアの片付けセミナー
10	市社会福祉協議会共同募金活動に協力	街頭募金、交通安全キャンペーンでの応援
11	おけいこ場である地域の人から公民館活動に参加依頼あり	新年、三曲（箏、三味線、尺八）の演奏を公民館で
12	公民館展に参加要請があった	絵画作品等展示
13	地元自治会から要請があった	自治会の敬老会、月のカフェなどでの音楽演奏
14	短大（小田原）からの要請でシンポジウムに参加など	活動内容の発表と実演
15	敬老会、自治会文化祭、学校、老人ホーム、会社からの依頼	マジック
16	自主的に参加	清掃活動
17	東栢山地区公民館祭り実行委員会、井細田1区自治会、第43区自治会、富水地区フェスタ実行委員会、難病支援NPOサポートKAZE、県里地里山協議会（金次郎のふる里を守る会、大雄町花咲く里山協議会、曾我山応援隊）、コンサートバンクや社会福祉協議会等からのお声掛けによる。	敬老会、在韓民施設、中日協会、地域交流イベント、里地里山活動行事、県ふれあいの森主催森の大地祭り、いずみ城北他院センター団体活動発表会、NPOサポートKAZEイベント、知的障がい施設行事等での音楽披露（ボランティア）
18	学習会の通知は教育委員会経由で市内小中学校へ配布されているので、図書担当の先生や司書の方へも案内が届いている経緯がある	これまで37回の学習会を行ってきた中で、図書担当の先生や司書の方の参加をいただいた（学校との連携）
19	ある介護老人施設よりレクリエーションのボランティアの依頼あり	折り紙、手作りおもちゃ、ナツメロを利用者と一緒に行う
20	富水小学校等、学校からの要請	小学生の草履づくりの指導、協力（老人会とも一緒に活動あり）
21		UMECO祭り
22	イベントへの出演依頼	イベントへの出演
23	生涯学習課からの依頼（城郭を中心として）	生涯学習課講座受講生による城郭と歴史を中心とした見学会
24	地域の環境美化委員からまちづくり委員になっている	足柄地区自治会内の清掃、ゴミ拾い、公園の管理など
25		地域公民館文化祭出展、市老人クラブ連合会作品展、市民展出展
26	自治会に声かけをしたほか、当会の催し物のチラシを見た地域の方が参加した。	老人会への「食べ方講習会」、夏休みこども工芸教室、文化祭への参加
27	清掃活動に要請	酒匂川（河口）右岸清掃
28	清掃地域の自治会に要請	酒匂川（河口）右岸清掃

29	健康普及員、社会福祉協議会に声をかけてもらった。	顔ヨガ、太極拳、こうづサロンで笑顔の体操
30	「地域の自然を語ろう」桑原公民館での専門家を交えたゆるやかな生き物今昔話会を実施したのが始まり	教育研究所主催の「小田原の自然」観察会（春）の案内、「たんぼの恵を感じる会」との稲作・観察会イベントの際は地元農家・母親クラブ等の協力もあり市民と大切な場の共有
31	飯田岡東地区の委員会に提案、快諾いただいた。	地域の公民館文化祭に参加。活動紹介、バザー。
32	老人ホーム	月2回習字教室
33	学校からの要請	学校で民話の語り、おもちゃ作り
34	構成団体の一つ	街頭啓発等
35	地元自治会から誘われた	書道教室
36	文化祭の展示	簡単な教材で楽しむ
37	会員の地元自治会の文化祭に参加	作品と出展
38	下曾我自治会から要請があった	傾聴の仕方、大切さ
39	地元曾我別所老人会から要請をもらった	老人会の余興で大正琴の演奏にあわせてみんなで一緒に懐メロや唱歌を歌ってもらった
40	片浦小、酒匂小放課後子ども教室に団体から提案した	体験活動（塩づくり、泥団子づくり）
41	県の環境政策課を經由して	桜井小学校4年生への地球温暖化防止のための省エネ教育（同じく富士見小、三の丸小、平塚市立山城中学校他）
42	小田原医師会よりの依頼（相田化学工業）	2019年6月16日「おくちのけんこうフェスティバル」銀粘土でアクセサリーを作るコーナー
43	生涯学習センター（本館）、おだわら市民交流センター	講座、フェスティバルの出展
44	こちらから子育て支援フェスティバルや糖尿病週間行事、ふれあい健康フェスティバルに参加申込み	がん検診（バリウム胃検診、乳がん検診等）や放射線検査の啓蒙、ブース出展、骨密度や血管年齢検査を実施
45	社会福祉協議会からの要請	災害ボランティア
46	地域の住民の人たちと交流し、共生社会を目指す	防災訓練、ふれあいサロン参加、ありんこ祭、ありんこ忘年会、各地区のお祭りに参加
47	会員他の自治会からの要請	敬老会での出演、小田原宿場まつりや地区夏祭り等への出演等
48	会員が地元住民（自治会を含む）との意見交流を要請された。	新幹線騒音（住民生活）、基地建設計画（住居環境）、農地埋立（防災）、河川浸水（生活防災）
49	委員長からの依頼	普通救命講習、防災教室
50	自治会等からの依頼	地域祭典、敬老会、商業施設祭典等でフラダンス披露、プチレッスン。
51	地域で必要となったため公民館を設立。	11月に公民館文化祭を3日間にわたり開催し、作品展、趣味の演芸発表会、餅つきで盛り上がった。
52	地域の公民館活動に参加	老人ホームでのボランティア
53		敬老会、新年会、各種イベント
54	先生、関係者との個人的な関係からの紹介	PTA成人教育での講座開催、高齢者サロンでの講座開催
55	酒匂・小八幡地区まちづくり委員会からの要請、下府中地区の団体からの要請による。	地域のサロンで絵手紙で交流
56	市内のギャラリーで展示したところ、来場者から「是非、我が地区でも開催して」と依頼された。	毎年恒例の地域の祭りの一環として作品の展示などで参加した。
57	自分たちの子どもがお世話になった地域子育てひろばを運営している児童主任委員の方との繋がりやもともと知り合いと言う縁で、依頼を頂きました。	地域子育てひろばでのミニ防災講座の開催、共同で講師を招いての防災講座の開催
58	会員の地元である自治会からの要請。小田原市の無尽蔵プロジェクトとして市からの要請。	美術の楽しみ方の講習会等
59	まちづくり委員会から要請があった	定例会議への参加、予算を頂いて会を運営。
60	会員の地元である城山中学校からの依頼	総合学習の授業で、くらしの中の自然エネルギーについての講義とワークショップを実施。
61	講座開催のチラシを小、中学校に配布する際、教育委員会の協賛や学校の協力を頂いている。	家庭教育講座やベルマーク、使用済み切手などの収集ボランティア活動、ユニセフ募金

62	所在地である豊川連合自治会に挨拶に行った。	今後の計画を説明した。
63	イベント役員や自治会から要請があった	演奏ボランティア
64	色々な自治会より要請があった	敬老会その他での音楽演奏
65	UMECOで行った活動体験会に参加されたことをきっかけに話が進みました。	コンテンツの制作依頼を受け制作提供を行った（青年会議所）。地域商店より協賛をいただいた（飲食店）。地元中学、高校に活動の紹介に行った。
66	まちづくりの団体から「まちなかバザール」への協力を依頼された。他	朗読劇公演
67	商店会からの要請	商店会主催による、ハロウィンパレード等への協力
68	当会の広報紙を置いてもらえるように交渉した。	当会の広報紙を市内の施設に配布出来るようにに置いてもらっている。
69	活動（ガイド）に参加した方の地元自治体からの要望。	酒匂川流域の歴史・治水・防災の講演会や流域の見学会等。
70	自治会メンバーもいるため	世代間交流
71	小田原市社会福祉協議会からや自分時間手帖を参考に各団体から連絡頂き要請があります。	要請に応じて民謡・津軽三味線の音楽演奏
72	自治会関係者の会員からの依頼、地元の公民館長へ提案	自治会の総会での防災講演を依頼され実施、防災に関する講演を公民館行事として実施
73	学校からの依頼	小中学生と交流
74	様々なイベントで、関係する方々にその都度、連携提案した。	清閑亭でのイベントや展示会、日本まち歩きフォーラムなど
75	民生委員さんからご依頼をいただいた。	読み聞かせ会
76	自身も老人会役員であり、相互に干渉し合った。	老人会親睦会などの場でのデモンストレーション等
77	民生委員さんよりご依頼いただきました。	子育てサークルでの、リトミック活動
78	小田原市・神奈川県との共催・後援、小・中学校への書画の応募について	書画展の会場提供、設定
79	小田原市高齢介護課から依頼、小田原市社会福祉協議会から講演依頼、地域包括支援センター5団体が主催する「茶つと会」での講演依頼	自治会から依頼された「公民館で行う健康体操の振り付け」をおだわら小唄に合わせて実施するリハビリ体操メニューを提案、久野区民会館にて「いきいき健康教室」を開催、「転倒予防教室」をテーマに理学療法士を派遣、「茶つと会」にて「在宅介護の支援における医療系支援との連携について」というテーマで訪問リハビリの講師派遣依頼があり、訪問リハビリで活動されている理学療法士に依頼した。
80	商店街の取材などの許可申請	調査、取材、インタビューなど
81	地元団体の農地保全を手伝う、当会の子どもの体験できる場所を提供していただき、整備作業から始まった。	柑橘園の草刈り・摘果・収穫・保存、不耕作農地の保全作業、感謝祭の協働
82	自治会からの要請	日常における健康習慣についてのセミナー
83	小田原市スポーツ課の依頼	スポーツの推進
84	防災啓発活動の一環として、会員が居住地の自治会と接触し関連の問題意識や要望などをヒアリングした。	防災関連の出前講座、資料提供、
85	会員地元の中里自治会よりの依頼で敬老会での訪問演奏、富水小学校エリアPTAの依頼で演奏、尊徳記念館からの依頼で、尊徳祭での演奏など	吹奏楽演奏の実施
86	当会及び運営する作業所（施設の設置・運営事業）の存在と活動内容等を知ってもらい（普及啓発事業の一環）、地域との連携につながるネットワークを構築（連携事業の一環）する。上記を通して、地域に住む障がい者に対して一人でも多く自立支援活動を拡大展開していきたい思いから、自発的に地域の自治会や社協及び団体等へ協働を投げかけている。	定期的な地域ネットワーク会議開催、地域の防災訓練参加、地域の公民館文化祭出展、地域の夏祭り参加、施設利用者主体で推進しているエコキャップ活動への応援（協働）、当会主催のお祭りやクリスマス会等のイベント開催 等
87	イベントを行うにあたり後援を依頼した。	障がい者が主体となり行われる交流会
88	自治会等からの要請	救命講習
89	自治会連合会から、当会に出演要請があった。社会福祉連絡協議会から、敬老会などへの出演要請があった。公民館祭りへの参加要請があった。	敬老会での上演。地域文化祭での展示および上演。社協、青少年健全育成会などの要請による上演。

90	小田原サッカー協会からの要請	酒匂川河川敷の芝生の苗を育て植える。酒匂川河川敷の清掃。
91	地域の活性化とまちづくりは地域の皆さまの理解と協力を得ながら一緒に取り組むべきことであるため、自治会長や民生委員の方などに助言や協力をいただきながら活動しております。（要請はこちらから。）	当会主催のイベントの他、景観整備や防犯、空き家空き店舗対策、美化清掃など多岐にわたる。
92	同分野の市民活動団体から要請があった。	
Q5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。		
「活動したくない」⇒理由		
1	書道連盟に所属の方々はほとんど教授の資格を持つ団体の所属なので現実問題として時間調整が大変。また、中央の展覧会等で活躍している理事も多く作品制作に時間が必要のため、とにかくゆとりがない。	
2	自分自身のためのもので趣旨が違う	
3	メンバー48名の活動だから	
4	現状で満足	
5	仲間の有志の句会だから	
6	今のままで良いから	
7	教える程の技術を持っていない	
8	高齢者ばかりなので	
9	高齢者ばかりなので	
10	地域に固定していないので	
11	活動内容が違います。	
12	現在活動を再構築中の為	
13	会の性格が自己研鑽であるため。	
14	構成員の高齢化と会員数の減少	
15	対象が違う。	
16	活動人員の不足	
17	会の性格上対応しづらい。	
「どちらとも言えない」⇒理由		
1	高齢なので移動が大変	
2	会員の高齢化	
3	活動が専門的で特殊なため地域活動と結びつきにくい。	
4	高齢のため	
5	依頼があれば検討したいが現状は今の活動で精一杯、余裕がない	
6	要請に応じて活動したく思う	
7	同窓会なのでそのような意向は今のところない	
8	現在の活動でいっぱい、いろいろな意味で余裕がない	
9	英語の要請の可否による	
10	現在はかもめ図書館での活動で手いっぱいなので	
11	きっかけがあれば、できることを協力していく	
12	つながりのある自治会はいいが、それ以外に拡がるとメンバーの仕事や高齢化などもあるので	
13	茶会という特殊な文化団体で地域というより全国的に集客する	
14	連携の必要性が考えられない	
15	会員が高齢化してきた	
16	メンバー少数、高齢化のため	
17	ほぼ活動になっていないため	
18	今年度限りで活動を終了する	
19	城郭に対する（歴史を含めて）要請がどれくらいあるか	
20	七福神会を通しての活動	
21	要請があれば出展など協力する	
22	気持ちとしてはあるが、家族の介護などで時間が取れない、現状で手いっぱいの感じ	
23	一人で活動しているので体力的、時間的に大きな活動はできないので	
24	特定地域のみの方と考えると考えていないため。現状では考えられないが将来的に可能かもしれないと思う。	
25	現在の活動の充実を図る	
26	会員の意見が分かれているため	
27	現在、地域内でメダカ関連5団体の会員重複、別の会で活動活性化しており、守る会では観察会と生態調査中心の活動をしている	

28	朗読は垣根が高いのか敬遠される
29	構成団体の一つなので
30	人が集まらない
31	公民館を長年お借りしている条件として地域への普及活動を禁止されているため
32	チャンスがあったら啓発活動等を行っていききたい
33	年齢的に無理かも、これ以上人数を増やしたくない
34	会員数が少ないため積極的に色々な場所に出向いて行うことができにくい。作品展示だけであれば可能な場合もある。
35	皆高齢のため
36	要請があれば応じる
37	現段階で計画はない
38	活動したい気持ちはあるが行動に鈍さを感じているので
39	グループメンバーの高齢化のため（今後は私の所属する温暖化防止アクショングループ以外のグループによる活動を市内で実施する予定
40	活動成果による
41	当法人は2つのリサイクルショップという自分たちの拠点があるのであえて出かけていく必要性は感じない
42	人的体制がない
43	現在やっているので続けていききたい
44	コンサート形式での活動なので、不特定多数の方々を対象とする
45	写真を撮るための活動なので個人的。
46	市全域のネットワークメンバーが活動している。
47	必要とそもそもされていないかもしれないから。
48	当会は市子連と各子ども会の橋渡しの役割なので、それ以上の活動を望まない。
49	活動に必要な物をこちらで準備しにくいので。
50	必要があればコンタクトをとり協力してもらいたい
51	就学前のお子様をお預かりするボランティアサークルです。自治会等となると大人中心の活動となると思うので、今のところは考えられないかと思います。但し、子供会も絡めての活動等でどうしても、小さい子供さんを見てほしいということであれば、有かもしれないといったところです。どちらにしてもお受けできるかどうかは、状況などを踏まえ要相談となるとは思いますが。
52	会員に孫が生まれるなど、個人的に忙しいため。
53	人手不足
54	ボランティアになるのであるならば要請されてきめるもの、こちらからボランティアを要請するものではないと思うのですが。
55	より多くの方に活動内容を知っていただくために自治会に働きかけたいが、個人情報などを地域の人に知られたくない人もおり。対応が難しい。(講座で個人が抱えている悩み、問題の相談がある)
56	地域に残されている古文書の発見の困難さ、虫食い汚損などがなく解読可能の資料との遭遇という特殊条件が存在するため。
57	なるべく地域の行事に参加したいがあまり歓迎されていないので言いにくく参加しづらい。
58	当会には母体である団体があり、修了して母体に所属すれば、地域といろいろ活動をしています。
59	内容によるためどちらとも言えません。
60	単位自治会の活動と結びつかない。
61	自治会の活動ニーズにあっているか不明のため
62	まずは劇団としての興行活動を主軸としたいから。
63	視点の違いが感じられる。
64	対応できる状況であれば
65	忙しい。
66	活動内容が不明のため保留。
67	自治会連携に興味がない。
68	なかなか繋がらない。
69	限られた枠内で活動したい。
70	特定の地域と連携することが効果的かどうか検討していないので。
71	精神障がいの方を対象とする活動なので、地域での活動は難しいと思います。
72	内容によります。
73	人材不足のため。
74	活動場所の限定されており、他の地域へ出向いての活動はむずかしいと思われる。
75	本来の活動目的が、競技を通して大会開催・ジュニア育成・競技人口の増加を目指している。地域からの要望があれば検討する。

76	会員の高齢化、人数の減少により活動範囲に無理がある。
77	謝金の面などで
78	地域団体などとの連携については、依頼を受けての演奏が主であり、参加メンバー数などについても集まりにくい状況のため、こちらからの働きかけによる演奏については、実施が難しい。
79	相手の希望する内容によりけり。
80	条件が合えば
81	会員に要相談のため。
82	コーディネーターがいない、場所がない
83	活動内容によっては自治会等との連携も考えられるが、そういう場面があるか不明。
84	特になし。
85	サッカーを主とした団体なので、大会や招待試合などが多く時間に余裕がないため。
86	核は市福祉部局ですので協力する形になっている立場。
87	繋がりが無い。
88	現在の活動を広げることが難しい。
89	役員それぞれの考え方の相違。
90	仕事が忙しくなったこと、人員不足であること、人間関係に対応できないこと。
Q6 地域と活動するにあたり、どのような内容を希望しますか。	
1	地域課題の調査
2	詩吟、詩舞、語りの発表
3	自治会の行事があれば参加したい（日舞は老人福祉施設の依頼で年間4～5回以上は参加している）
4	台本を読むというイメージが強いと思うが「語り」で独り芝居のようなもの。ぜひ一度敬老会で声をかけてほしい。
5	Q4の内容を継続して行いたいと思う（敬老会、地区公民館フェスティバル、市老人クラブ連合会、公民館文化祭等）
6	講座やセミナーの開催（シニア世代の片付け、実家の片付け、子育て世帯の整理収納）
7	絵画作品等の展示、ギャラリートーク等
8	自治会主催の音楽演奏
9	マジック
10	展示会、作陶など
11	防災訓練等
12	これまでの各種活動の継続性（毎回お呼びはかかるような関係構築）。利き手側の声が解る仕組み（アンケートを配布し後日返却により反応等をチェックし改善へ）。
13	いつもUMECOにチラシを置いて呼びかけている。今年2名の参加者があった。
14	募金活動、障害者のための手助け、署名運動など
15	遺跡清掃や案内、金次郎の草履づくり体験・指導の要請があれば、検討し実施
16	交流会
17	原発やエネルギーに関する講演やDVD上映会（勉強会）
18	文化祭などに出席
19	清掃活動
20	清掃活動
21	学生等のスポーツ振興を応援
22	予防医学（未病を治す）活動、笑顔を増やす活動
23	敬老会で朗読
24	活動紹介とバザー
25	自治会主催の食事会などのお手伝い
26	従来通りの活動
27	お城の見学会のPR
28	話の聴き方（聞き方ではない）
29	学校外での学習指導（シニアと児童生徒のニーズがあったうえで）
30	老人会やふれあいサロン、お茶飲み会、敬老会、地域のお祭りなどの行事で、今までと同じ内容の音楽演奏をしていきたい
31	体験活動の参加者募集の協力を依頼したい。会場の提供も含めて。
32	市内の公民館の文化祭等で、省エネ推進のための工作（ソーラーオルゴールを作ろう）、太陽光で風車を回そう、青少年のための科学の祭典の開催（秦野市で開催）
33	銀粘土で作るアクセサリーの体験（リサイクルについて理解してもらおう）
34	乳がん検診等、放射線検査に関する啓蒙
35	今までと同様
36	現在の市議会への要望を聞くとともに、市議会の現状をお知らせしたい。

37	子ども会に外郎売他、絵本紙芝居読み聞かせ、敬老会等へのアトラクション出演
38	地域で困っていることについて一緒に考え検討したい。
39	イベントでの子供達に向けたヨーヨーパフォーマンスや体験会など
40	小田原市や地域との音楽会の共催。
41	現在も地域ごとの自治会長に活動の農地や、援農の場所、生産者山東について相談やヒアリング等でご協力いただいています。今後も、耕作放棄地状況、農地状況、生産者状況、援農の要請等、地域の生情報を教えていただきたいと思います。
42	会の活動紹介、シニアバンクへの登録勧誘（小田原市生涯現役推進事業）
43	小学校でプログラミング体験イベント、公民館でパソコン講座、女性の自治会参加や避難所運営に関する座談会
44	自治会への出前ガイド
45	自治会主催のイベントで健康チェック
46	士業を通じての法律、制度の勉強会
47	合同の企画作り。ただし当会の趣旨理念に沿うもので合同でできたらと思う。
48	結婚相談セミナー開催（親向け・若者向けなど）
49	地域のお祭り等に利用者らと参加したい。
50	障がい者の地域参画、災害時の障がい者対応について理解を広げるための講演イベント
51	自治会との連携、運営譲渡
52	各種イベントへの参画・出展等
53	コーラス演奏
54	地域に、体操の指導、家でできる運動を、広めに行きます。
55	写真展の展開と、シニアの趣味の喚起。
56	地域との茶道の普及活動
57	防災訓練・救護訓練のお手伝い、指導
58	依頼があればどのような場でもフラダンス披露と健康増進のためのプチレッスン等。
59	もっと多くの活用をしてほしい。（公民館）
60	編み物、手芸作品の指導
61	大正琴のアンサンブル演奏
62	エコ講座、健康講座の開催
63	会場の展示スペースに彩を添えるような活動
64	乳幼児の保護者向けの防災座談会やイベント、小学生を対象とした防災ミニ講座・体験会
65	現行のままで良い
66	地域主催のイベントでのワークショップ、テーマに沿った内容の出展。例：地域材を使った小物づくりなど
67	自治会や地域のお祭りや幼稚園・ケアセンターなどの慰問演奏。明るく・楽しく・元気を届けたい。
68	音楽演奏
69	地元の自治会等の主催、または、私達が企画した行事に参加協力できたらと思っています。スポーツ大会等、お祭り等のブース出展
70	広報紙を読んでいただいて当会へ関心を持ってもらいたい。
71	酒匂川流域の歴史・治水・防災の講演会や流域の見学会等。
72	地域イベントの出演
73	防災に関する座学、ワークショップ、ゲーム
74	まちづくりを共に考え、実行すること。
75	リズム体操やダンス、音楽演奏等
76	パンフの配布
77	介護予防、健康教室、子供達へのリハビリ啓蒙活動など
78	町の特徴
79	自治会に出向いたり、UMECOなどを利用してのセミナー
80	防災講話、防災訓練、防災イベントの共同主催
81	当会及び運営する作業所（施設の設置・運営事業）の存在と活動内容等をより多くの地域住民に知ってもらえ（普及啓発事業の一環）、地域とのネットワーク強化につながる（連携事業の一環）ような内容。上記を通して、地域に住む障がい者に対して一人でも多く自立支援を広げていけるような内容。例えば、居場所や行き場所が見つけれずに自宅に引きこもった状態に陥っている障がい者へのケアを、地域と協働して取組むような内容 等
82	誰もが安心して暮らせる地域づくり
83	救命講習
84	多くの市民に観覧いただけるイベントでの、活動の紹介と公演。
85	買い物弱者を救済するための取り組みや景観整備など。

Q7 地域と活動するにあたり、コーディネーターは必要ですか。	
	「必要」⇒理由
1	団体をPRしてほしい
2	団体をPRしてほしい
3	講座内容の調整や会場設営などが必要
4	コーディネーターを置いてうまく調整をしていくほうがスムーズ
5	広い地域での方から要請が受けられる
6	連絡先、参加先が不明
7	行政部門が認知いただく事での市民側の安心と安全、納得性が構築される事。
8	UMECOにあるチラシを自治会に配ってほしい
9	会員各々がバラバラに活動している現状。組織としてまとまったの活動を考えている。
10	目的、目標の明確化
11	日程や時間調整
12	地域の自治会の役員、学校（小・中・高校）
13	地域の自治会の役員、子供会、学校（小・中・高校）にも参加していただきたい。
14	ケースバイケース
15	地元ではないところとの橋渡しをお願いしたい
16	住居（回答者）が南足柄市である
17	それぞれの役割、分担がスムーズに運べるように
18	どのような人がいるか分からないから
19	会との連絡係、調整は必要
20	協力団体の制約や実施条件を調整する窓口が必要となる
21	会場の準備等調整してもらいたい
22	活動場所、内容、日時等の調整
23	いってくださると、種々な地区の特徴等もわかるので。
24	地元の方と共に考え研究するために。
25	コミュニケーションを多くしていけたら。
26	場合による
27	自治会も担当地域だけの活動ではマンネリ化してくるので、さまざまな団体が加わることで活性化に繋がると思う。
28	自治会長さんや窓口になって下さる方、地域で頑張っている方をご紹介してほしいから。但し自分たちが常日頃、コーディネート役を担っているの、すべておんぶにだっこでなくてもよい。
29	正直なところ独自にアクションを起こすのは困難。ワンクッション入れることは同時に意見や希望が流れていくことの確約にもなるため。
30	各方面のニーズがあっても、それをつなぎ実現化するコーディネーターがいないと掛け声だけで現実にはなりません。しかも、ただつなげて調整するだけでなく、成果を実現化するためのビジョンと熱意とスキルと能力を持った人材が必須です。
31	連携関係が構築されていないため
32	互いの特徴や要望を的確にマッチングし、円滑に活動できるサポーター役として必要。ただし、あくまで「サポーター」として動いてくださる前提で。
33	互いの活動の意図を調整するには必要
34	窓口はたくさんあったほうが良い
35	連携するための窓口となってもらえると助かる。
36	なかなかきちんと会ったり話したりする機会を得られない。
37	コネクションが無い為
38	参加、協力にあたりお互いの意見や方針の確認の為
39	調整役が入ることでお互いにストレスなく関わられると思われまます。
40	限られた自治会のみではなく、酒匂川流域全体の自治会とも共同で活動したい。（含む足柄上郡の市町）
41	地域活動の調整が円滑になる為に必要と考えます。
42	自治会へのコネクションがない。
43	関係づくりのために、行政などの仲介が必要。
44	スムーズにすすむと思うので。
45	活動の理解をしてもらうため。
46	当会に「渉外部」を設置し対応しているが、行政と協力できると日程調整や派遣スタッフへの案内など調整しやすくなると思います。
47	団体紹介
48	環境確認、日程や会場の予約

49	当会は民間有志団体なので自治会側も会の申し入れに迷うことが多い、行政やUMECOからの仲介・斡旋が有ると動きやすい。
50	お互いを理解するに、両者の間に共通の調整役は、必要。
51	どちらでも
52	地域の方々に当会の活動の実態が充分にご理解いただけていると思えないため。
53	自治会やその他施設をよく知る人の協力が必要。
54	活動に合ったやり方を行うため。
55	地域と連携していくには非常に繊細に丁寧に意思疎通を図ることがうまくいくコツ。そこがうまくいかないと、地域で活動していくことも難しくなる。
「不要」⇒理由	
1	地域包括支援センターや市役所担当課と協働するため
2	大舞台ではないのでコラボのため
3	要請に応じて会の人材でできる範囲で対応したい
4	会で調整できるので（何かあったら相談させてください）。
5	役員と直接電話で話し合っ確認しながらトラブルなく活動している
6	我々の代表と学校・自治会・公民館役員との打合せで実施
7	窓口が確立している
8	自治会の規模であればコーディネーターは必要ないかと。企画の規模によります。
9	仲間で間に合うから
10	自治会から直接依頼で演奏可能です。
11	現段階で、コーディネーターの役割がよくわからないので。
12	もし出演などのオファーがあった場合は自分たちで日程などの調整を話し合うため。
13	定例会議へ参加して連携が図れているので。
14	どちらでも構いませんが、特に調整役がなくても大丈夫です。
15	要請があれば直接コンタクトを取り、調整を取りたいが、相手側がコーディネーターが必要ならそれもいい。
16	自分たちで交渉する。
17	連携ができています。
18	必要な場合は、自主的に行う。
19	自治会に加入しており、繋がりががあるため。
20	成人指導者が対応する為
21	紹介いただければ、こちらで調整は可能。
22	当会で地域活動のコーディネーターも含めて、現在トライアル挑戦を推進している。但し、うまく進んでいる状態とは言い切れない部分も多々あり、今後の状況に応じては、調整役の必要性も感じる。
23	今はまだ必要ではない。
Q8 地域と活動するにあたり、どのようなアプローチを希望しますか。	
「その他」	
1	施設に応じ出向く
2	市美展、会員展、秋の文化展、天守閣等見に来ていただくことが活動につながる。
3	行政やUMECO側経由で当該地域へ各団体のPR（団体紹介写真やメッセージ含む）紙を適時発行する（地域回覧板へ3ヶ月1回程度配布等）。
4	知人等を通じて要請された場合に対応したい
5	要望があれば出向く
6	不要
7	実施現場の見学
8	ケースバイケースでアプローチします。
9	いろいろな場合が想定されます。
10	上記3つすべてを希望したいです。小田原市住民への健康寿命の延伸や未病予防、フレイル予防を広く認知していただくため、また住民の意識向上を図るためにも、自治体レベルで定期的にリハ専門職が講演会や運動教室などで係わっていただけるシステムが構築できればと期待します。
11	いずれでも可
Q9 地域と活動するにあたり、期待することは何ですか。	
「その他」	
1	お客様と共有の場でありたい
2	特になし
3	共感まで行かなくても知って共に考えてもらう
4	地域のさまざまな問題を一緒に考え解決方法を探ることが、会員の向上になる。
5	フラダンスが心身共に健康増進に繋がるPR。見るだけでも楽しんでもらえる。

6	住民の防災意識の啓発
7	地域の既存の組織力により、活動が広げやすい。
8	地域活性
9	社会貢献
10	災害時の連携をスムーズに行うための顔の見える交流
Q10 地域と活動するにあたり、地域に負担してほしい費用はありますか。	
「その他」	
1	車がないので最寄りの駅までの送迎を希望する
2	車がないので最寄りの駅までの送迎を希望する
3	ハンドベルを普及したい。演奏を通してホッとした時間を過ごしていただきたい。
4	楽しんだ気持ちの共有
5	通信費
6	地域に行ったとき、集まる場所（屋内屋外）があれば。
7	ボランティアでお手伝いしてくださる方の確保
8	音響などを貸してもらえると助かります。
9	既に頂いている。
10	会場費を含め分担
11	必要な経費を団体が身を切る形では、発展がないと思います。
12	プロジェクターを用意してもらおう。資料が必要な場合は、コピーしてもらえば無償。
13	講師派遣を募る際に、講師料として提示できると講師が集まりやすい傾向にあります。
14	協働して行う活動内容により、負担していただきたい費用も発生する可能性はある。
15	会費
Q11 連携を希望する相手はありますか。	
「その他」（「連携希望なし」以外）	
1	図書館、老人施設
2	共感を前提にした小田原のグループ
3	年齢も増してくるので現状維持で続けていきたい
4	趣味の団体のため希望なし
5	過去に中国出身の中学生に日本語を教えた時、中学校の先生と連絡取りたいことがあった。
6	単に小田原市内だけでなく西湘地区で連携を希望している。
7	小田原市にはいないと思うので県内のグループと連携考慮中
8	市、県
9	保健センター
10	連携する意味が不明。
11	市長から街づくり街かどにアートがあったらと言われていますが、対応できる団体。
12	会計やデザイン、広報、SNSの専門家、又は得意な人
13	終了後、母体となる団体に所属する。
14	講師を立てての勉強会であるため、他の団体と連携する内容が今のところない。
15	地域県政総合センター
16	保育園・幼稚園、学童保育（子供向けも可能）
17	活動分野にかかわらず連携を広げたい。
18	幼稚園や保育園（未就園児対象のため）
19	学校については、大学を想定しています。
20	現時点では、連携を希望する団体について考えてはいません。
21	未定(会員に要相談)
22	地域の交流が重要
23	特に限定しない。
24	市福祉部局を通して連携できる方法があれば。
Q12 地域との活動を促進するためには、何が重要だと思えますか。	
「その他」	
1	会員が皆高齢なので難しい
2	時間
3	なし
4	不明
5	小学校の理解
6	地域との交流を希望していない。手作り作品（お手玉、鍋敷き等）を高齢者施設にプレゼントしている。
7	なし

8	写真を撮るための被写体となるような行事の情報が欲しい。
9	なし
10	連携は当面考えていない。
11	市のやる気
12	実績
13	地域の方の病気に対する理解
14	会の性格上対応することは難しい。
15	当会の活動を深く理解し共感して協働していただける個人や団体。
16	聴覚障がい者のことを促進
Q13 団体が地域と活動することを難しくしている原因は何だと思えますか。	
「その他」	
1	任期過ぎても役員が辞めず長いため、古参の会員が多く流れが止まっている
2	会として一つの目的を定めて地域活動をするには活動のねらいではない
3	なし
4	わからない
5	地域側の活動主体メンバーの高齢化（体力が叶わないなど）による、面倒くささの存在など（新規にトライする気持ちの減衰）。
6	不明
7	団体が限られた会員であるため
8	目的が違うから
9	なし
10	山仕事には危険も伴うのでどのように連携していくのが難しい。課題として残る。
11	活動が個人的であるため。
12	自分たちの広報力不足
13	地味な研究会なのであまり目立つ活動がないこと。行政の経験豊富な職員等（退職者）が参加していただくと助かります（行政の話をしてもらうなど）。
14	特に問題なし。
15	弊団体の宣伝・広報が不足している。
16	前述のとおり、子どもや家庭内での悩みを地域の人に知られたくない人もいるため、自治会との連携がむずかしい点がある。
17	市の見解が漠然としているため双方共手が出ないのかと思います。
18	連携しようと試みたことがないので、分かりません。
19	他者を批判し、他団体の悪評を流す人たちがいること。自分たちだけが素晴らしいから他団体は潰れた方が良くとする人により良い団体がなくなっていく。
20	地域の方を知らない。
21	自治会等は慣例や運営方法などが画一化されている傾向があり、関係が築かれていない市民団体等の要請を受け入れる窓口が定かではない（ように感じる）。
22	活動が地域と係わるものではないため。
23	難しいとは認識していない。
Q14 UMECOの施設を利用、または事業に参加いただいたことはありますか。	
「その他」	
1	印刷室も使う
2	会報の配架
3	印刷機利用
4	印刷室・ロッカー使用
Q16 UMECOにどのようなことを望みますか。	
「その他」	
1	窓口か電話にて予約受付してほしい。誰でもがパソコンが使えるわけではない。
2	会場費が高く、また会場も予約が取りにくい
3	各団体へのコラボ希望伺いアンケートの実施～希望団体との検討会主催でコラボ可能性検討～有りて団体同士協議～コラボ実施への仕組み造りを提案します。
4	現状のままでよい
5	電話で簡単に予約できるようにしてほしい
6	二宮尊徳をテーマにしたイベント
7	俳句の会の会員増加を願う。昔の成人学校のようなシステムがあったら？と思う。
8	既にUMECOを利用させてもらっているので特に望むことはない
9	市民活動登録団体は駐車料金を割引してもらいたい

10	神奈川県から来る講座案内等を毎月決まった場所に置いてほしい（例：神奈川県立国際言語文化アカデミア開講のご案内）
11	活動に参加してくれる団体を望む
12	活動に参加してくれる団体を望む
13	今のままで
14	予約を簡単にしてほしい
15	駐車場料金を配慮してほしい
16	今までどおりで構わない。自分達の活動方法を変更する。
17	駐車場料金の割引
18	会報を置かせていただきたい。
19	登録制度の緩和、改革。意見を聞こうとする耳なり目（特に行政）。
20	利用時間の拡大。以前は22時までだったのが、21時までとなった。21時まで借りているのに、10分前に内線がかかってきて落ち着かない。
21	UMECOより依頼されボランティアにての展示ですが、多目的がギャラリー化してきている点が気になります。多目的は別会場での展示などが行われているときの発信とすべきものと思います。ギャラリー化は市内の貸しスペースのなりわいに悪影響をあたえ、街づくりと逆行している。大きすぎる象もそろそろ場所を変え、旭が丘側のお城に近いほうに移動はどうか。多目的の目的として、白い壁が出て広い落ち着きのある空間が存在する。UMECOが主催だから活動エリアにてアルコールの飲食はいかがなものか。
22	資金支援
23	活動スペースの拡充
24	O Aルーム（パソコン室）、もしくはノートパソコンの貸出
25	情報の発信機能
26	場所の貸出の単位を「時間」単位だけでなく、「午前」「午後」「夜間」「終日」などの枠組みも作って欲しい。割引付きで。
27	パソコン・プリンタの無料使用、会議室の無料使用
28	何が実現できるか不明です。
29	補助金などの支援をしていただけると嬉しい。
30	他団体との交流の後のフォローがあるといい。
31	市民の声をまとめて、望まれるセミナーを企画実施できるコーディネート機能
32	防音設備のある部屋を1つ作ってほしかった。そうすればいろいろな音楽団体が利用できたと思う。

自由記載等回答一覧（市内NPO法人）

Q 4 地域と活動することになった経緯と活動の内容を教えてください。	
経緯	内容
1 市が所管する地域密着型通所介護事業の実施法人なので、年2回の運営推進会議で、地域の方々の要望やご意見を伺うことが義務づけられている。	運営推進会議への参加により、交流・意見交換
2 地元自治会からの要請もあるが、方針として地域活動に積極的に参加している。	清掃、体育祭、祭り
3 当法人活動を地域と密着したい為に当方から働きかけた。	1. 地域運営懇談会 2. グリーンサロン（高齢者の交流） 3. えりむ祭（地域との交流）
4	・老人会による工作教室の開催 ・夏祭りによる地域交流
5 山王地区まちづくり委員会に入っている。	避難訓練、サロン、山王祭典、作品展など
6 以前から学校運営協議会があり、継続している。	学校授業参観・給食試食・運動会・入学式・卒業式の行事参加、学校見学等
7	近隣小学生を対象とした「海の教室」の開催
8 小田原市、小田原市教育委員会	公開講座の実施
9 地区民生委員から事業所への協力援助。	障がい者施設において外部からの受注製品の加工等作業に対しボランティアとして協力援助いただいている。地区の公民館祭りや文化祭で自主製品を販売している。
10 知人より紹介	当センターの実施する調理教室への学生、教員の参加。
11 小田原警察署経由で自治会等へ紹介され、協力要請を受けた。防犯指導員協議会からの青パト運行協力要請。小田原市市民提案型協働事業等、市の地域活動支援連携事業展開。小田原市委託事業（担当課：地域安全課）。会員と地域諸団体との関係からの協力要請。	地域防犯活動への協力（青パト運行協力[防犯パトロール・青少年街頭指導パトロール・地域安全パトロール]、防犯講演など）。
12 自治会からの要請がありました。	こどもによる演奏。競技参加。敬老会。
13 クラブから組織委員会に提案	清掃活動、地域イベント
14 地元地区連合自治会からの要請、小田原サッカー協会との共催、地元小学校PTAとの共催、地元子ども会との共催	まちづくり委員会参加、酒匂川サッカーコート補修：ポット苗作成、補植 ・希望の光、サマースプラッシュ、ふれあい清掃事前植栽、校庭キャンプ、夏休みラジオ体操
15 私達は40年前から酒匂川河口海岸の清掃を行っています。海と自然の生涯学習をもっとうに活動しています。	地元スポーツ団体の一員として活動中
16 養護学校から園児との交流の提案があった。小学校主催の幼保小連絡会の案内をいただき、参加。小学校に園児の学校見学を依頼。	交流、連絡会、学校見学
Q 5 今後、地域に出向いて活動したいと思いますか。	
「活動したくない」⇒理由	
1	組織が整っていない
2	職人の確保
「どちらとも言えない」⇒理由	
1	あまり必要性がない。
2	対話がないため
3	その内容等による
4	当事業所を利用している家庭が広範囲のため。
5	トルコ共和国の歴史、文化、日本とトルコの交流などに関する講演、授業などの依頼があれば受ける。
6	時間が無い。
7	現状で問題ない
Q 6 地域と活動するにあたり、どのような内容を希望しますか。	
1	運営推進会議における意見交換や交流
2	地区のまちづくり、防災訓練等

3	民生委員との情報交換（精神障がい者を地域で支えるために）
4	防災訓練での食事作り、例えば「飯ごう炊さん」を行いたい。
5	敬老会での遊戯・歌・合奏等
6	今後も事業所で作成した自主製品を販売していきたい。
7	地域の催事・祭りごとの参加等。避難場所などへの利用。
8	調理教室へ参加し、食事療法の普及活動を行う。
9	全ての要請に対応して活動したいのはやまやまであるが、要請が増えるにつれ、経費負担が無視できなくなっており、活動経費負担のあり方の検討、調整を要す。
10	民生児童委員との連携を図り、地域課題を把握する。
11	音楽会など地域交流の場所として。
12	地域の方との交流。
13	地域社会貢献活動
14	スポーツイベント、公園の芝生化等
Q7 地域と活動するにあたり、コーディネーターは必要ですか。	
「必要」⇒理由	
1	地区住民との交流がない
2	第三者を挟まずにやると必ず小さいトラブルがでるのは目に見えている。ある程度のルールを敷いてくれる人が必要である。
3	中々マッチングが。また以前より解放可能と言っているが一向に問い合わせが無いので。
4	面識のない団体と繋がりをもつ場合は、調整役の方がいたほうが良いと思います。
「不要」⇒理由	
1	職員がコーディネーターをすることができるので。
2	自治会の方が頑張っている。
3	直接活動主体（団体）と連携・協力の為話し合いをすれば済む話であるし、NPOとしては、行政機関に仲介役として機能して頂けると有り難い。行政運営・個々のNPOの詳細まで、理解している行政マンがコーディネートして頂けるのであれば重要な役割で有ると思うが、単なる紹介・メッセージで有るならば、かえって情報伝達が不効率になるので、必要ないと考える。
4	組織内にコーディネートを担うスタッフがいるため。
5	毎年参加させていただくことにより、流れがわかっているのです。
6	すでに地域、行政などとの連携は図られている。
Q8 地域と活動するにあたり、どのようなアプローチを希望しますか。	
「その他」	
1	地域の方に啓蒙的説明
2	機会がない
3	SNS、SMSなどIT媒体などでの発信。但し、まだ数年は併用は必要ではある。
4	地域から直接要請・相談を受け、条件を調整し実施できる事が望ましいと考える。
5	中々法人として人がいるわけでないので、自治会主導で場所や機材を活用していただく範囲で希望。
Q9 地域と活動するにあたり、期待することは何ですか。	
「その他」	
1	地域のニーズを知ることにもなる。
2	入所者の自立
3	地域住民の役に立ちたい
Q10 地域と活動するにあたり、地域に負担してほしい費用はありますか。	
「その他」	
1	不明
2	話し合い
3	人件費（最低賃金であっても）を地域団体に負担して頂く事は、現実的に難しい面が充分予測される。なので、人件費相当額として、負担可能な謝礼金でも頂けると経費負担の一助となるのでご配慮頂きたいところではある。
4	光熱費
Q11 連携を希望する相手はありますか。	
「その他」（「連携希望なし」以外）	
1	NPO支援団体、資金コーディネータ
Q12 地域との活動を促進するためには、何が重要だと思いますか。	
「その他」	
1	「連携」等と言う抽象的な協力体制ではなく、役割分担と責任の明確化をもって、地域団体、NPO、行政の協力体制が必要。

Q13 団体が地域と活動することを難しくしている原因は何だと思えますか。	
	「その他」
1	難しくしていると考えていない。
2	地域に関係なく活動しているため（病院等への送迎）
3	保育園がスタートして以来、今まで自治会などの交流は学校以外では実施していないため。
4	NPO 法人と市民活動団体の違いを正しく理解されていないため。
5	事業を利用している子どもの所在地が広範囲の為。
6	自治会の高齢化により活発な活動が促進されない、新しいことに保守的。自治会の維持、若返り、活性化のために、地域の子ども会の加入率向上を行政、市子連が明確な数値目標を持って施策を検討・実施する必要があると思えます。
Q16 UMECOに登録しようと思わない理由は何ですか。	
	「その他」
1	生活困窮者支援団体のため（主に生活保護者）
2	UMECOの働きを理解していなかった。
3	障害者の駐車場が充分ではないし、お金がかかるので。
4	市域の枠を超えた範囲で活動しているため
5	UMECO登録団体がUMECO利用時の駐車場・駐輪場コストがかかる為、非常に利用しにくい。市民会館で運営されていた市民活動サポートセンターでの運用同様、登録団体用に、駐車場・駐輪場枠の確保が必須。市民の生活の足は、コスト・労力的に大きな負担となる公共交通機関ではなく、車、バイク、自転車、であることをご認識頂き、経済的弱者でも、高齢者でも、障がい者でも気軽に利用できる様、無料駐車場・駐輪場枠をご準備頂きたい。毎年登録の手間も煩わしさを感じる。サポートセンターから各団体に、電話・メール等で連絡を取り、活動状況を把握すれば済む話であるのでそのようにして頂きたい。
6	人が派遣できないため休止中で、場所や機材なら自前で出来ているので、他団体さんとの交流を望まないときは不要と思われる。

自由記載等回答一覧（地域コミュニティ組織）

Q 1 貴組織の活動においては、市民活動団体や地域外のボランティアの協力を受けていますか。	
「ある」⇒団体名	
1	緑地区体育振興会
2	神奈川県レクリエーション協会
3	不明（大正琴の演奏）
4	津軽三味線いしかわ会、大窪農協フラダンスクラブなど
5	老人会、子ども会
6	地区社協、子ども会、老人会
7	社協、子ども会、高砂会（老人会）
8	東富水絆ふかめたい
9	富水ウォーキングサロン（いずみ）
10	体育振興会
11	民生委員
12	NPO法人下府中コミュニティShin2
13	マイデラウリー、大道大正琴教室
14	交通安全母の会、老人会、傘焼まつり保存会、自治会、体育協会など
15	個人参加
16	自治会、民生委員、老人会、健康おだわら普及員、地域福祉コーディネーター
17	赤十字社
「過去にはあった」⇒団体名及び協力がなくなった理由	
1	敬老会の行事を見直したため。
Q 2 どのような事業における協力ですか。	
「その他」	
1	生活環境・地域振興
2	各スポーツ行事のグラウンド（芝）整備など
3	侵入竹林伐採
Q 3 今後、どのような事業において、協力を受けたいと思いますか。	
「その他」（「検討中」以外）	
1	現在受けている協力の幅をさらに広げたい。
2	必要な時に依頼するようにしたい。
3	侵入地雨林伐採、タケノコ狩り
「協力を受けたいと思わない」⇒理由	
1	興味のある団体がない
2	それぞれ地域事業が異なり、マッチする形態がない。
3	年間行事が充分にあるので
4	何を協力してくれる？NPOは何が出来て、期待が出来るのか？
5	特に必要に感じていない。
6	フルタイムで働いている役員が多く、今の行事を遂行するのが精一杯で新規に事業を行うことは難しい。（受けたくない訳ではない。）
7	民児協は地域の活動に協力しており、敬老会やサロン活動も主催者ではないので、質問には的確に答えられない。ただ、日頃の民生委員の活動に協力をしていただくのは、個人情報等のことで難しいと思う。子育て広場のような活動に協力してもらえると、新しい内容で活動ができるのではと思う。
8	地区内、各団体による活動で間に合っているから。
9	活動自体が少なく小規模なので
10	地域人材の掘り起こしが先決と考える。
11	自治会が主で行っている。
12	よくわからないが、現時点では思わない。
13	継続していける人がいない。
Q 4 希望する具体的な協力内容は何ですか。	
1	地区の環境美化（特にタバコのポイ捨て、落書）
2	単位自治会主催の敬老会において例年小田原ばやしの演奏をお願いしている。
3	地区内、主に中高年の方々を対象とした軽い体操、音楽鑑賞、手芸、ゲーム、講演会等、原則月1回開催しているサロン活動で取り組みたい。
4	敬老会でのアトラクション（音楽（合唱）、その他）
5	敬老会での演芸（落語）
6	定期的実施しているおかめ桜の下草刈作業、白糸川の草刈・清掃で一般ボランティア等、根府川駅周辺の清掃・草刈作業

7	地元自治会の防災について特に必要な対策等のアドバイス、敬老会・夏祭り等での新しいイベントのアドバイス等
8	サロンでみんなでコーラスできる音楽会
9	安全第一に考え、専門知識を持った方をお願いしたい。
10	防犯パトロール・清掃活動等（高齢者が多くなり、参加者が減少している）
11	・久野川、山王川の草刈り等の協力 ・自主防災訓練での防災用品等の出展
12	不明
13	・交通安全に対する知識の付与と実践 ・防災に対するアドバイザー、組織づくりの指導
14	生活安全面全般、側溝の蓋、水路の草刈、防犯灯の整備など
15	自治会には集会場（公民館）が無いために子どもたちとの交流がありません。老人会でお誕生日会も、年数回となります。定期的にもんがが集まりお茶会などしたいと思いますが、できません。若い人たちと、もっと運営について話し合う場が欲しいです。
16	特に地震関連の防災訓練を期待する。
17	自主防災組織を機能させるためのノウハウ
18	・サロンでの体操や歌（合唱の指導）等 ・サロンの運営方法やテーマ設定について ・勉強会の講師
19	定期的に小八幡川の清掃を行っている。（年2回）
20	具体的には想定していない。
21	皆で楽しめること。
22	・地域防犯活動への支援とパトロールの実践 防災訓練でのアドバイザー支援とボランティア協力
23	・クリーン関口等の環境整備のボランティアとして参加 ・子どもの居場所づくりで子どもたちのあそび相手をする ・昔あそびのイベントでスタッフとして参加 ・農業体験学習でスタッフとして参加 ・子どもの居場所づくりにおけるランチ提供でスタッフとして参加
24	手品や軽音楽の演奏など
25	・市営団地敷地内の用水路（排水路）のヘドロ等の清掃 ・市営団地内の空き屋敷地、並びに敷地周辺の助走
26	・連合自治会主催の防災訓練でブース出展 ・春に実施している水路清掃（高齢化で参加者が減少）
27	・子どもたちの安全に関すること ・清掃活動
28	敬老会やサロンでの余興等に協力してほしい。
Q5 どのような団体から協力を受けてみたいと思いますか。	
「その他」	
1	実際の活動している中で効果・実績等が見られる団体
2	屋内でのイベントの運営に協力できる団体
3	小八幡地区全体で小八幡川の清掃
Q6 地域で負担可能な費用はありますか。	
「その他」	
1	謝礼の範囲内（5,000円位）
2	費用による（年間の自治会予算の範囲内にて可能）
3	イベント関連
4	謝礼程度
Q7 地域と市民活動団体の連携が進まない原因は、何だと思いますか。	
「地域の負担が増える」⇒負担の内容	
1	予算や人的な面で負担させられる。
2	現状、地域内での活動でギリギリである。
3	協力をしていただく際の事前打ち合わせや準備等。
4	実費
5	人・財不足
6	現状の活動でめいっぱい、余裕がない。

「その他」	
1	何をやっても人口が増えなければ何も出来ないと考えている。 過疎地の魅力を理解して人口増加に一役かって頂ける NPO は居ないのかな？
2	よい結果が出ないと申し訳ない気がする。
3	具体的な連携方法が不明、宣伝不足
4	地域と市民活動団体の活動が可能となる場、意見交換できる場が必要。
5	今のところ必要性がなく、話題にも上がらない。
6	仕事や家の事情など
7	具体的ニーズがあった時点で検討する。
8	地域でのリーダーがいないので、継続ができない。
Q10 地域と市民活動の連携促進のために、どうしたらよいと思いますか。	
「その他」	
1	市民活動団体が地域の中で活動してほしい。(長期間)
2	広報活動
3	今連携して行くことは良い事だとは思いますが、人口が増えないで人が居なくなってきている。この先年寄りも居なくなってしまうのでは無いか？
4	その中で連携してどれだけ続くのかな？
5	現状では、新たな行動には人的、スケジュール等で無理である。
6	UMECOの事自体の周知が、あまりされていないような気がする。
7	地域と市民活動団体連携の事例紹介
8	詳しくは知らないので、改善・強化について提案できない。
9	交流活動事例を紹介する。
10	コーディネーターが双方の団体を理解し紹介いただけると助かる。
11	基本的に地域で解決することが重要。互いの思いが合致するなら連携は進むはず。
12	最初のハードル（やることに対する）が高いのではないかと思う。
Q11 登録団体名簿をどのように改善すれば、連携が促進されると思いますか。	
①配布先の見直し	
「その他」	
1	地域の社会福祉協議会
2	サロン運営者、団体
Q12 どのような相談体制となれば、連携が促進されると思いますか。	
「自発的に地域に出向きニーズを聞き取る」⇒頻度・場所	
1	各地区自治会の会合に出席してもらう。
2	公民館
3	半年に1回、連合会議で
4	活動拠点
5	年に4回、タウンセンター等で
「依頼に応じて地域に出向きニーズを聞き取る」⇒場所	
1	地域公民館
2	活動拠点
「UMECOで定期的に相談会を開催する」⇒頻度	
1	月に1回
「その他」	
1	身近な場所に窓口を設置する。